

令和 6 (2024) 年度 「柏崎市で暮らすことに対するアンケート」

集計結果

1 調査の目的

- ・子どもの頃から本気で地元を楽しむ大人との出会いや自ら地域の良さを発見する機会を創出する。
- ・現在の柏崎市での暮らしや、将来柏崎市で暮らすことに対する意識の変化を定点把握・分析することで子どもたちの柏崎愛を育む総合学習の指標とする。

2 調査対象者

柏崎市立中学校の 1 年生から 3 年生

3 アンケート実施期間

令和 7 (2025) 年 1 月 15 日 (水) から 2 月 3 日 (月) の間

4 アンケートの実施方法

学習用タブレットを用いて専用のフォームより回答、送信

5 回答者数

1, 4 4 2 人 (在籍生徒数 1, 7 2 1 人・・・回答率 83.8%)

令和 7 (2025) 年 6 月
柏崎市移住・定住推進パートナーチーム
基盤ユニット

目次

問 1. 通っている学校を選択してください。	1
問 2. 学年を選択してください。	1
問 3. 性別	1
問 4. 将来、柏崎に住みたいと思いますか？今の気持ちを教えてください。	1
問 5. 柏崎に住みたい理由として、最も当てはまる理由を選択してください。	3
柏崎以外のまちに住みたい理由として、最も当てはまる理由を選択してください。	5
問 6. 今後、進学などで柏崎を離れた場合、また戻って柏崎に住みたいと思いますか？	7
問 7. 質問 6 で答えた理由を教えてください（自由記載）	8
問 8. あなたが就きたい仕事（職業）として、最も当てはまるものを選択してください。	10
問 9. 柏崎で、その仕事（職業）はできそうですか？	12
問 10. 質問 9 で答えた理由を教えてください。（自由記載）	14
問 11. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【アウトドア、スポーツ系】に取り組む場合、 どのようなことをしたいですか？	16
問 12. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【芸術、趣味、娯楽系】に取り組む場合、 どのようなことをしたいですか？	17
問 13. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【学習、自己啓発系】に取り組む場合、 どのようなことをしたいですか？	18
問 14. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【ボランティア活動】に取り組む場合、 どのようなことをしたいですか？	18
問 15. あなたの好きなことやワクワクすることが柏崎でできるとしたら、 どんなことがしたいですか？（自由記載）	19

【自由記載について】

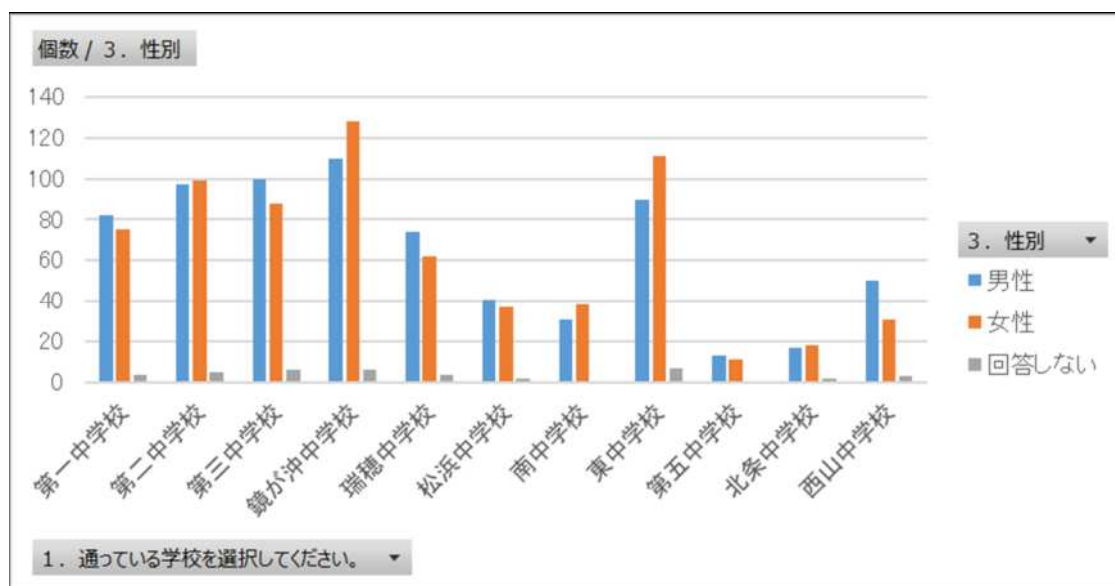
自由記載はキーワードに分類し、記載いただいた一例を掲載する方法で集計しています

問 1. 通っている学校を選択してください。

問 2. 学年を選択してください。

問 3. 性別

▼学校－性別



▼学校-学年-性別 集計値

行ラベル	1年生			1年生 集計	2年生			2年生 集計	3年生			3年生 集計	総計
	男性	女性	回答しない		男性	女性	回答しない		男性	女性	回答しない		
第一中学校	35	28	3	66	25	21	1	47	22	26		48	161
第二中学校	36	35	1	72	31	36	1	68	30	28	3	61	201
第三中学校	41	35		76	27	26	4	57	32	27	2	61	194
鏡が沖中学校	34	35	1	70	35	48	2	85	41	45	3	89	244
瑞穂中学校	26	13	2	41	24	28		52	24	21	2	47	140
松浜中学校	12	13		25	17	14	2	33	12	10		22	80
南中学校	9	15		24	11	11		22	11	12		23	69
東中学校	30	33	2	65	22	41	3	66	38	37	2	77	208
第五中学校	4	3		7	3	1		4	6	7		13	24
北条中学校	7	6	2	15	6	4		10	4	8		12	37
西山中学校	23	7		30	16	13	2	31	11	11	1	23	84
総計	257	223	11	491	217	243	15	475	231	232	13	476	1442

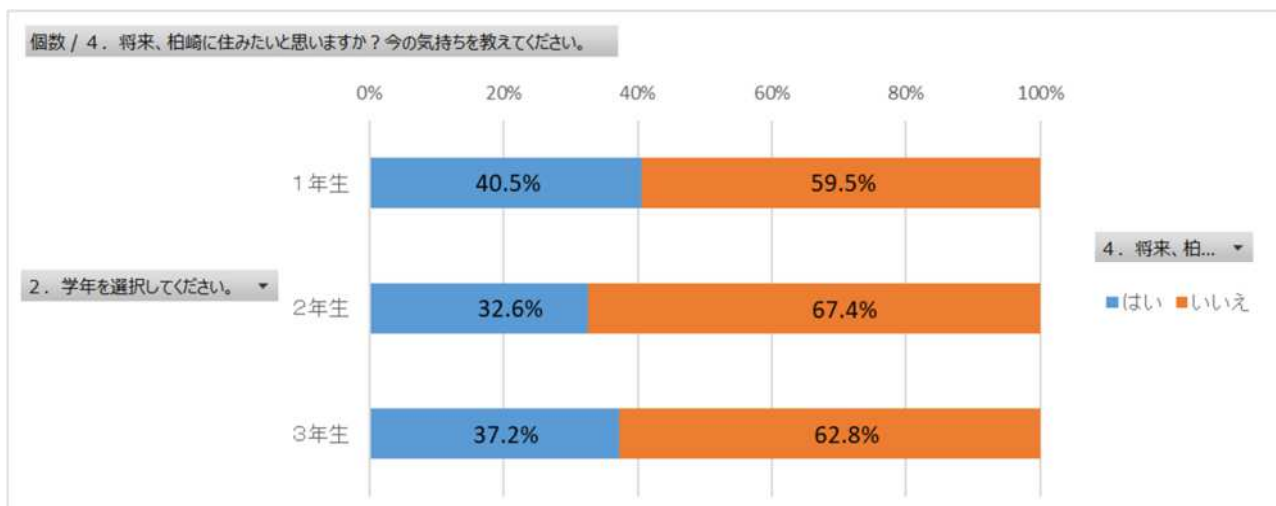
問 4. 将来、柏崎に住みたいと思いますか？今の気持ちを教えてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

回答の傾向

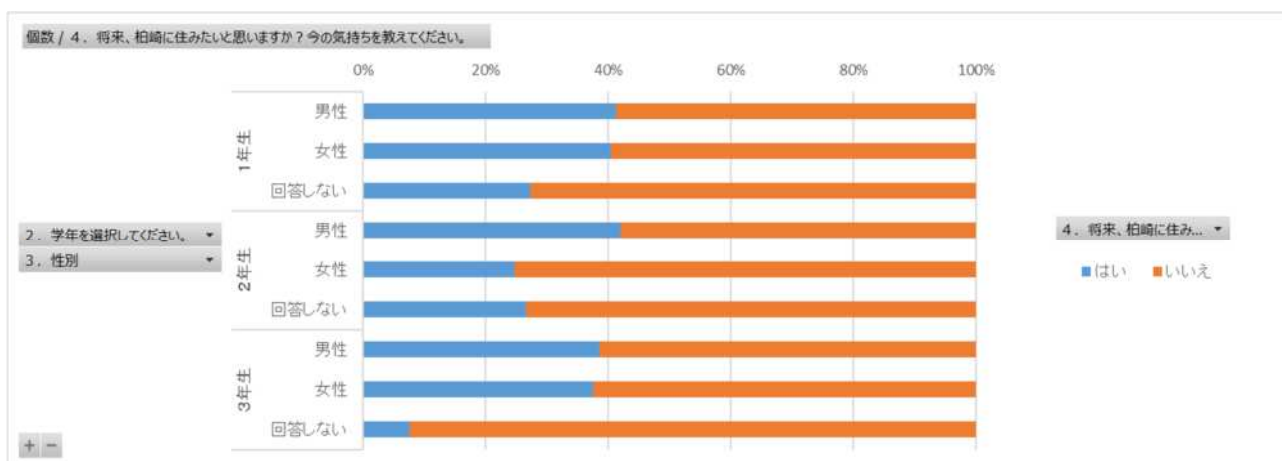
将来柏崎に住みたいと考える生徒は全体的に少数で、1～3 年生ともに「住みたくない」が多数を占めています。ただ、学年が上がるにつれて「住みたい」と答える割合がやや増加しており、進路や地域への理解が深まる中で、地元への関心が高まる可能性も見受けられます。

▼学年別割合



▼学年－性別割合

男女ともに「将来柏崎に住みたい」と考える生徒は少数で、特に2年生女子でその傾向が顕著です。一方で、3年生になると男女ともに「住みたい」と答える割合がやや上昇しており、将来を具体的に考える中で地元への意識が変化する可能性がうかがえます。



▼学年－性別 集計値

個数 / 4. 将来、柏崎に住みたいと思いますか？今の気持ちを教えてください。		列ラベル		
行ラベル		はい	いいえ	総計
1年生		199	292	491
男性		106	151	257
女性		90	133	223
回答しない		3	8	11
2年生		155	320	475
男性		91	126	217
女性		60	183	243
回答しない		4	11	15
3年生		177	299	476
男性		89	142	231
女性		87	145	232
回答しない		1	12	13
総計		531	911	1442

＜問4の回答が「はい」の方＞

問5. 柏崎に住みたい理由として、最も当てはまる理由を選択してください。

- ☐ ア 生まれ育った地域や柏崎のまちが好きだから
- ☐ イ 柏崎でやりたいことがあるから
- ☐ ウ 他のまちのことを知らないから
- ☐ その他（自由記載）

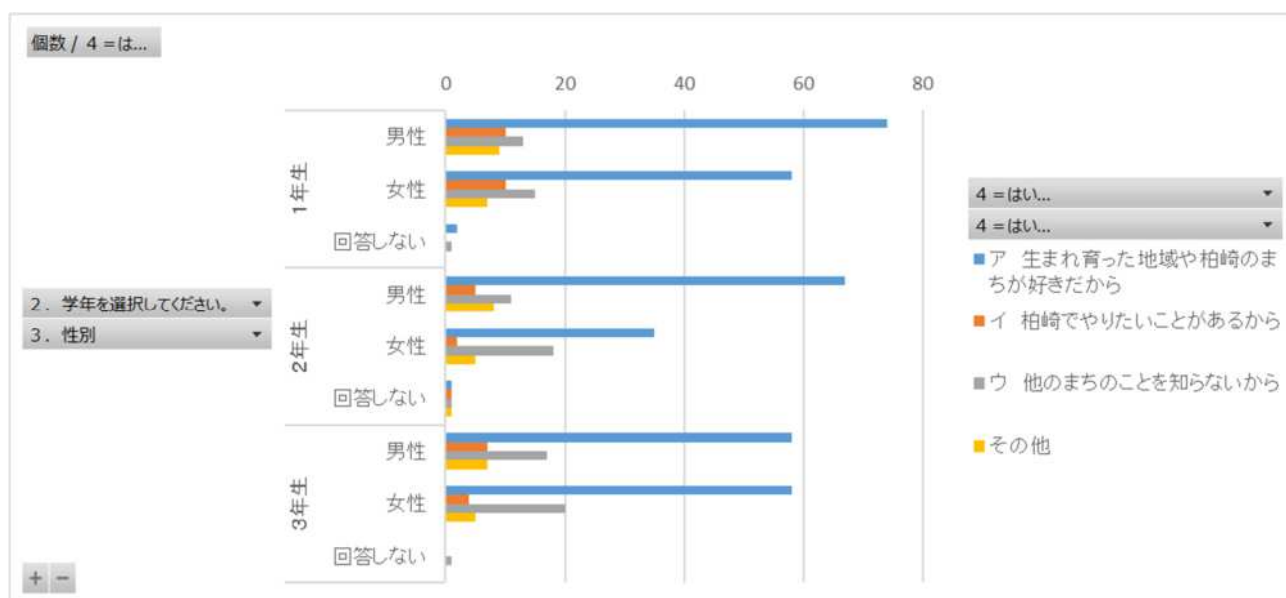
回答の傾向

全学年を通じて「生まれ育った地域や柏崎のまちが好きだから」という理由が最も多く、地元への愛着がうかがえます。特に男子ではその傾向がより顕著です。一方で、学年が上がるにつれて「他のまちのことを知らないから」の割合がやや増加しており、女子で割合が高い傾向です。外の世界への理解が限定的であることも想定されます。「柏崎でやりたいことがあるから」という能動的な理由は少数にとどまっており、今後は地域での活動機会や魅力の発信を通じて、自発的な関心を高める取り組みの必要性も考えられます。

▼学年別割合



▼学年－性別件数



▼学年・性別 集計値

個数 / 4 = はい5. 柏崎に住みたい理由

	⊕ ア 生まれ育った地域	⊕ イ 柏崎でやりたい	⊕ ウ 他のまちのこと	⊕ その他	総計
☐ 1年生	134	20	29	16	199
男性	74	10	13	9	106
女性	58	10	15	7	90
回答しない	2		1		3
☐ 2年生	103	8	30	14	155
男性	67	5	11	8	91
女性	35	2	18	5	60
回答しない	1	1	1	1	4
☐ 3年生	116	11	38	12	177
男性	58	7	17	7	89
女性	58	4	20	5	87
回答しない			1		1
総計	353	39	97	42	531

▼自由記載の分類結果

自由記載は概ね以下に分類されました。

キーワード	回答の一例
家族・親との近さ	「親の近くで暮らしたい」、「家族の近くがいいから」
慣れ親しんだ環境・地域愛	「慣れているから」、「柏崎で育ったから」、「柏崎の自然が好き」
自然・環境の良さ	「自然が綺麗だから」、「空気が綺麗」
都会嫌い・田舎志向	「都会が嫌い」、「都会が苦手」
経済・生活のしやすさ	「物価などが安く住みやすい」
その他／決まっていない・気分次第	「まだ決めていないから」、「気分次第」

「家族の近くで暮らしたい」「慣れ親しんだ土地だから安心できる」「自然が豊かで住みやすい」などの理由から柏崎に住み続けたいと感じているようです。また、「都会が苦手」「移動や環境の変化が不安」「特に不便を感じていない」など、現状維持を望む声も目立ちました。地元への愛着と生活のしやすさが、柏崎に住み続ける動機となっていることがうかがえます。

2024 年調査との比較

2024 年・2025 年ともに「ア：生まれ育った地域や柏崎のまちが好きだから」が最多で、特に 2025 年は 1 年生男子で顕著に増加し、理由が「好きだから」に集約される傾向が見られました。自由記載では家族に関する理由が多く、地域定着の中心です。2025 年は「慣れている」「住みやすい」など安心感による理由が増え、まちへの主体的な愛着が見られた 2024 年に比べると、より個人的・感覚的な動機が目立ちます。

<問4の回答が「いいえ」の方>

問5. 柏崎以外のまちに住みたい理由として、最も当てはまる理由を選択してください。

- ☐ ア 市外の学校に進学したいため
- ☐ イ 将来の夢や就きたい仕事があるため
- ☐ ウ 柏崎にはないまちの魅力があるため
- ☐ エ その他（自由記載）

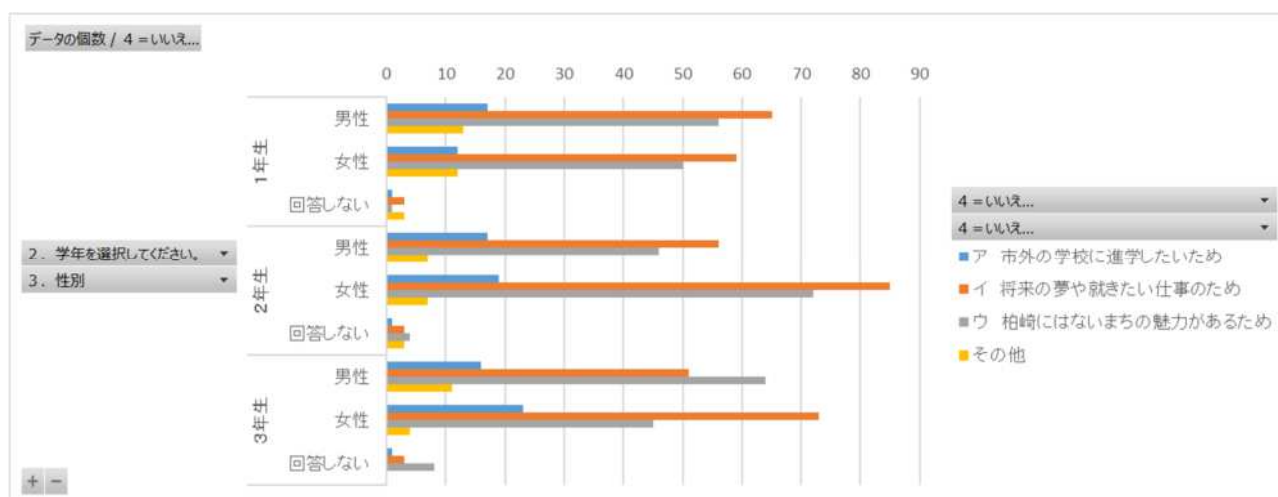
回答の傾向

学年を問わず「将来の夢や就きたい仕事のため」が最も多く選ばれており、特に2年生女子にその傾向が強くみられます。進路や職業選択を重視する傾向が表れているといえます。次いで「柏崎にはないまちの魅力があるため」が多く、特に1年生や3年生の男子で顕著です。地域外への関心やあこがれの根強さがうかがえます。進学希望を理由とする割合は他に比べて少ないですが、学年が上がるごとにやや増加しています。全体として将来への展望や他地域への関心が柏崎離れの主な要因となっており、地域の魅力づけやキャリア支援の充実が求められます。

▼学年別割合



▼学年－性別件数



▼学年・性別 集計値

データの個数 / 4=いいえ5. 柏崎以外のまちに1列ラベル

⊕ ア 市外の学校に進学 ⊕ イ 将来の夢や就きたい ⊕ ウ 柏崎にはないまち ⊕ その他 総計

行ラベル					
1年生	30	127	107	28	292
男性	17	65	56	13	151
女性	12	59	50	12	133
回答しない	1	3	1	3	8
2年生	37	144	122	17	320
男性	17	56	46	7	126
女性	19	85	72	7	183
回答しない	1	3	4	3	11
3年生	40	127	117	15	299
男性	16	51	64	11	142
女性	23	73	45	4	145
回答しない	1	3	8		12
総計	107	398	346	60	911

▼自由記載の分類結果

自由記載は概ね以下に分類されました。

キーワード	回答の一例
都会志向・都会に住みたい理由	「都会に出てみたい」、「もっと新潟とかの都会に行きたい」、「都会の方がいい」
田舎・現住所（柏崎）に対する不満	「柏崎は何もない」、「お店や施設が少ない」、「遊べるところがない」、「利便性が低い」
交通の便の希望	「鹿児島と新潟に行く時に交通が便利な場所に住みたい」
遊びや娯楽の不足	「ショッピングモールやラウンドワンみたいな体を動かせるところがない」、「アニメイトなど推し活できるところがない」
個人的な理由やその他	「占いで言われたから」、「知り合いに会いたくないから」、「お姉ちゃんと同居したい」
具体的な嫌悪・理由（雪、原発など）	「雪嫌い」、「原発が怖い」
未決定・あいまいな回答	「決まってない」、「とくに」

「遊ぶ場所や娯楽が少ない」「利便性が低く、交通・商業施設が少ない」「都会への憧れ」などが多く挙げられています。加えて、「雪が多くて生活しづらい」「知り合いに会いたくない」「田舎すぎて世界が狭い」といった心理的・生活面での不満も目立ちました。より便利で多様な経験ができる都市部への移住を希望している様子がうかがえます。

2024 年調査との比較

2024 年・2025 年ともに「イ：将来の夢や就きたい仕事のため」が最多で、特に 2025 年は女子全学年で圧倒的でした。他地域の魅力や進学理由も見られますが割合は減少し、「やりたいことの実現」を重視する傾向が強まっています。自由記載では「柏崎は何もない」「都会に行きたい」など生活や娯楽への不満が目立ち、2024 年の漠然とした理由に比べて 2025 年は自立志向や外の世界への関心が具体化しています。

問6. 今後、進学などで柏崎を離れた場合、また戻って柏崎に住みたいと思いますか？

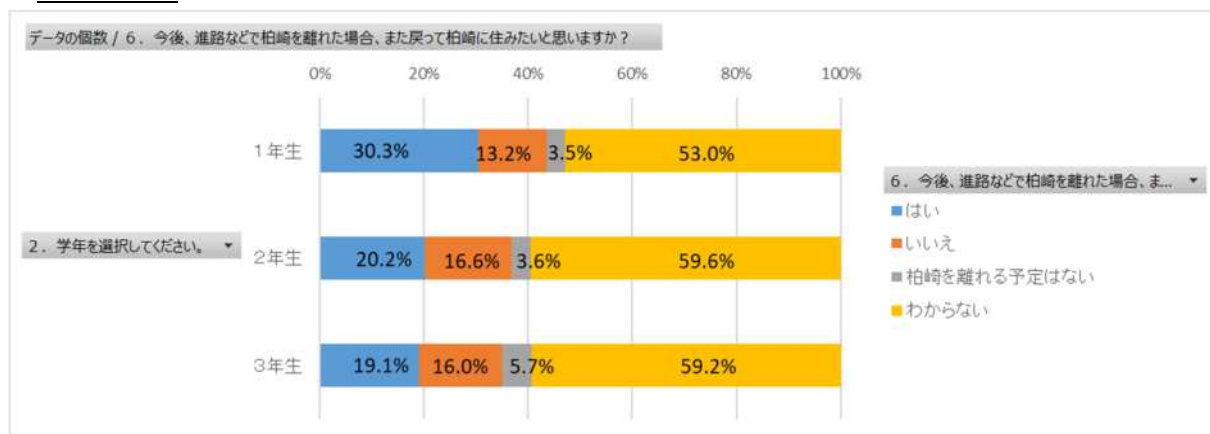
- ☐ はい
- ☐ いいえ
- ☐ 柏崎を離れる予定はない
- ☐ 分からない

回答の傾向

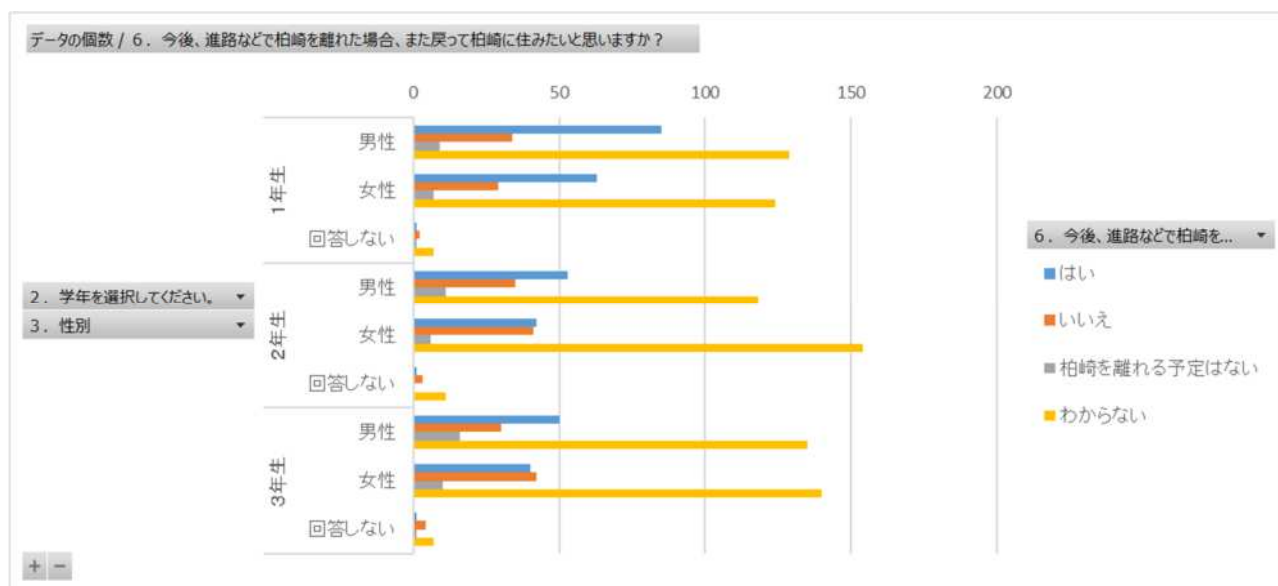
全体を通して「わからない」という回答が男女ともに圧倒的に多く、特に2年生女子ではその数が顕著です。一方で、「はい（戻って住みたい）」と答えた割合は1年生男子で最も高く、学年が上がるにつれてやや減少する傾向が見られます。「いいえ（戻って住みたくない）」や「柏崎を離れる予定はない」という回答は男女に大きな差はありません。

この結果から、多くの生徒が将来の進路や居住地についてまだ判断を下しておらず、特に女子にその傾向が強いことが分かります。柏崎の魅力や生活環境の情報提供、地元での将来像を描ける支援が重要であることがうかがえます。

▼学年別割合



▼学年－性別件数



▼学年・性別 集計値

データの個数 / 6. 今後、進路などで柏崎を離れた場合、列ラベル 行ラベル					
	はい	いいえ	柏崎を離れる予定はない	わからない	総計
1年生	149	65	17	260	491
男性	85	34	9	129	257
女性	63	29	7	124	223
回答しない	1	2	1	7	11
2年生	96	79	17	283	475
男性	53	35	11	118	217
女性	42	41	6	154	243
回答しない	1	3		11	15
3年生	91	76	27	282	476
男性	50	30	16	135	231
女性	40	42	10	140	232
回答しない	1	4	1	7	13
総計	336	220	61	825	1442

2024 年調査との比較

将来の居住地について判断がついていない生徒が多数派である状況は 2024 年と共通しています。2024 年のデータでは、1・2 年生男子を中心に「はい（戻りたい）」という前向きな回答がやや多く見られましたが、2025 年ではその傾向がやや薄れ、「はい」や「いいえ」といった明確な意思を持つ回答が全体的に減少しています。

特に 3 年生になると 2025 年では「いいえ」「離れる予定はない」などの回答がさらに分散し、卒業を見据えた判断が多様化している様子を読み取れます。一方で、「わからない」という回答がすべての学年・性別で引き続き最も多く、将来について模索中の生徒が依然として多いと考えられます。

問 7. 質問 6 で答えた理由を教えてください（自由記載）

▼自由記載の分類結果

自由記載は回答別で概ね以下に分類されました。

＜問 6 の回答が「はい」の方＞

キーワード	回答の一例
家族・友人がいる	「親がいるから」、「友達に会いたいから」
地元・故郷が好き	「生まれ育ったから」、「柏崎が好きだから」
安心・落ち着く	「安心するから」、「慣れているから」
自然・環境が良い	「自然が豊かだから」、「海があるから」
生活しやすい	「住みやすいから」、「便利だから」
地域貢献・発展したい	「地元を良くしたいから」
その他・理由が曖昧	「なんとなく」、「他の場所を知らないから」

回答の多くに共通して見られたのは、「柏崎が好き」「生まれ育った地である」「家族や友人がいる」といった地元への愛着や人とのつながりへの思いです。また、「自然が豊かで落ち着く」「住み慣れていて安心できる」など、環境面での魅力も挙げられていました。

＜問6の回答が「いいえ」の方＞

キーワード	回答の一例
遊び・娯楽の不足	「遊ぶところがない」、「若者向けのお店が少ない」、「カフェやショッピングモールがない」
仕事・就職の問題	「仕事が少ない」、「自分のやりたい仕事がない」、「施設や産業が少ない」
生活環境の不便さ	「発展していない」、「交通の便が悪い」、「田舎すぎる」
個人的な理由・価値観	「都会に住みたい」、「親元を離れたい」、「知り合いに会いたくない」、「気候が悪い」
その他・あいまいな理由	「特に理由なし」、「何となく嫌」、「新しいところに行きたい」

「遊ぶ場所やお店が少ない」「田舎で不便」「仕事や進学の実選択肢が限られる」といった理由から、柏崎に戻りたくない・住みたくないと感じているようです。また、「都会への憧れ」や「新しい環境に挑戦したい」という前向きな理由も見られました。全体として、柏崎の発展性や利便性の不足が将来の実選択肢を狭めていると捉えられている傾向があります。

＜問6の回答が「柏崎を離れる予定はない」の方＞

キーワード	回答の一例
地元愛・慣れ親しんだ環境	「生まれ育った町で暮らしたい」、「柏崎が好き」、「慣れているから落ち着く」、「実家が近いのが安心」、「柏崎の自然やイベントが好き」
進路・学校の関係	「高校が柏崎市内だから」、「進路であまり遠くに行きたくない」、「市外の学校に行くとお金がかかるから」、「進路未定でまだ考えていない」
不安・未知の場所への抵抗	「知らない土地は怖い」、「都会は臭いし汚い」、「田舎がいい」、「いじめが怖い」
仕事・やりたいことが柏崎にある	「柏崎でやりたいことがある」、「柏崎で働きたい」
その他・あいまいな理由	「なんとなく」、「めんどくさい」、「特に理由なし」

「生まれ育った場所で過ごしたい」「柏崎が好き」「慣れた土地が安心できる」といった理由から、柏崎に住み続けたいと考えているようです。また、「進路や将来がまだ決まっていない」「他の地域に行くのが不安」「一人暮らしをしたくない」といった、変化への不安や現状維持の志向も見受けられました。全体的には、地元への安心感と親しみが大きな要因となっています。

＜問6の回答が「わからない」の方＞

※回答の記載はありませんでした。

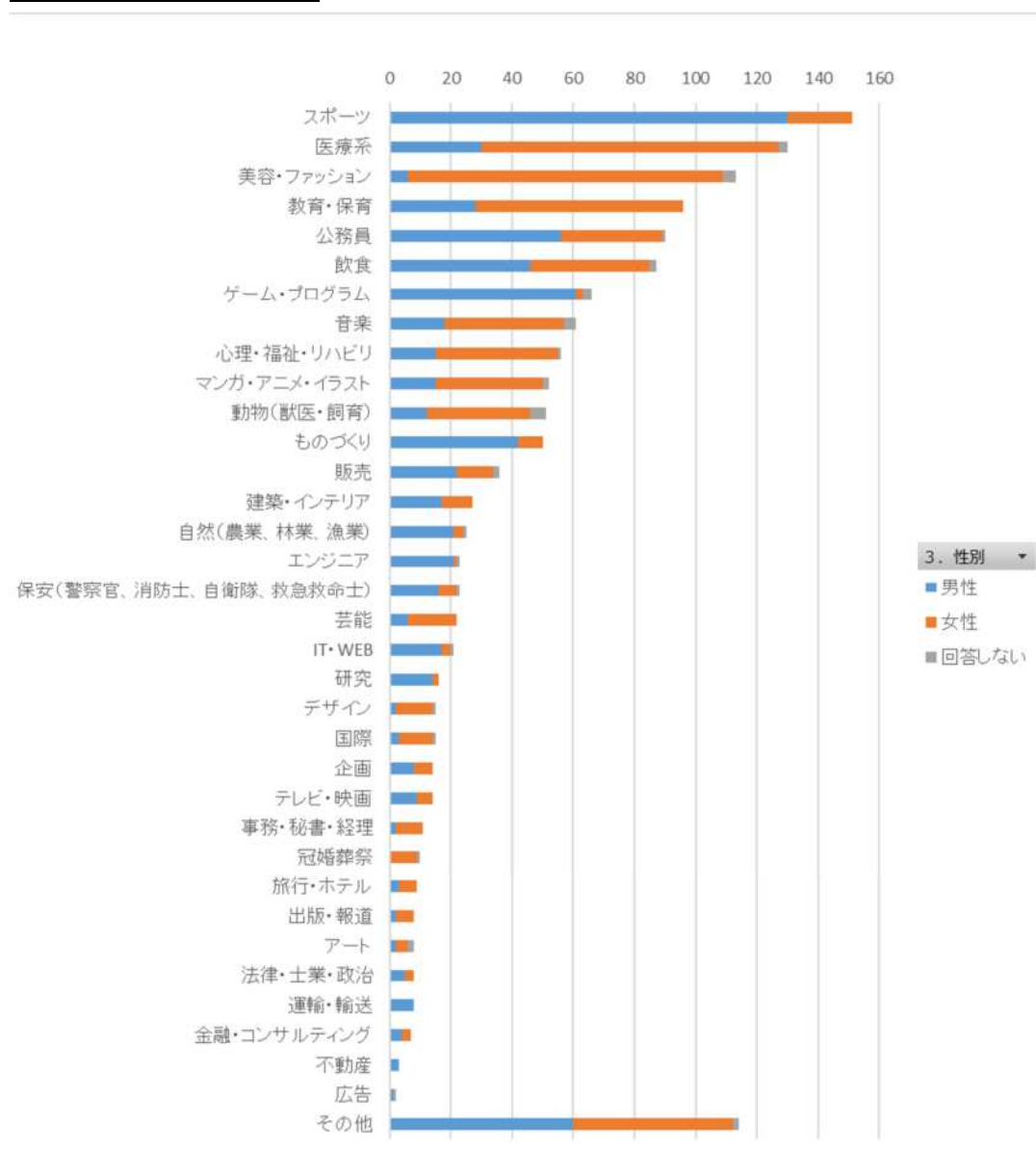
問8. あなたが就きたい仕事（職業）として、最も当てはまるものを選択してください。

回答の傾向

将来就きたい仕事として最も多く挙げられたのは「スポーツ」分野で、特に男子に人気が高く、女子を大きく上回っています。次いで「医療系」や「美容・ファッション」、「教育・保育」、「公務員」などが上位にランクインしており、これらは女子の割合が高い傾向にあります。また、「IT・WEB」「エンジニア」「ものづくり」などの技術系は主に男子に選ばれている一方で、「心理・福祉・リハビリ」や「マンガ・アニメ・イラスト」、「動物関連」は女子に人気があることがうかがえます。「公務員」や「飲食」「販売」「建築・インテリア」などは、男女ともに一定の希望があり、性別を問わず関心がある職業といえます。

この結果からは、職業意識には性別による傾向が見られる一方で、多様な進路希望が存在していることが分かります。キャリア教育の場では、さまざまな職業の情報に触れる機会を提供することが、将来の選択肢を広げる上で重要であるといえます。

▼仕事（職業）-性別 件数



▼仕事（職業）-性別 集計値

データの個数 / 8. 就きたい仕事（職業）				
行ラベル	男性	女性	回答しない	総計
⊕ スポーツ	130	21		151
⊕ 医療系	30	97	3	130
⊕ 美容・ファッション	6	103	4	113
⊕ 教育・保育	28	68		96
⊕ 公務員	56	33	1	90
⊕ 飲食	46	39	2	87
⊕ ゲーム・プログラム	61	2	3	66
⊕ 音楽	18	39	4	61
⊕ 心理・福祉・リハビリ	15	40	1	56
⊕ マンガ・アニメ・イラスト	15	35	2	52
⊕ 動物（獣医・飼育）	12	34	5	51
⊕ ものづくり	42	8		50
⊕ 販売	22	12	2	36
⊕ 建築・インテリア	17	10		27
⊕ 自然（農業、林業、漁業）	21	3	1	25
⊕ エンジニア	21	1	1	23
⊕ 保安（警察官、消防士、自衛隊、救急救命士）	16	6	1	23
⊕ 芸能	6	16		22
⊕ IT・WEB	17	3	1	21
⊕ 研究	14	2		16
⊕ デザイン	2	12	1	15
⊕ 国際	3	11	1	15
⊕ 企画	8	6		14
⊕ テレビ・映画	9	5		14
⊕ 事務・秘書・経理	2	9		11
⊕ 冠婚葬祭		9	1	10
⊕ 旅行・ホテル	3	6		9
⊕ 出版・報道	2	6		8
⊕ アート	2	4	2	8
⊕ 法律・士業・政治	5	3		8
⊕ 運輸・輸送	8			8
⊕ 金融・コンサルティング	4	3		7
⊕ 不動産	3			3
⊕ 広告	1		1	2
⊕ その他	60	52	2	114
総計	705	698	39	1442

2024 年調査との比較

2025 年は「音楽」「動物（獣医・飼育）」などの分野で若干の関心上昇が見られ、全体的に文化・福祉・自然に関連した職業への関心がわずかに広がっています。一方、「公務員」や「ゲーム・プログラム」は前年比でやや減少傾向が見られます。男女の傾向差は継続しており、男子は「スポーツ」「ゲーム・プログラム」「エンジニア」系、女子は「医療」「美容」「教育」「心理」系への関心が強いという構図に大きな変化は見られません。

問9. 柏崎で、その仕事（職業）はできそうですか？

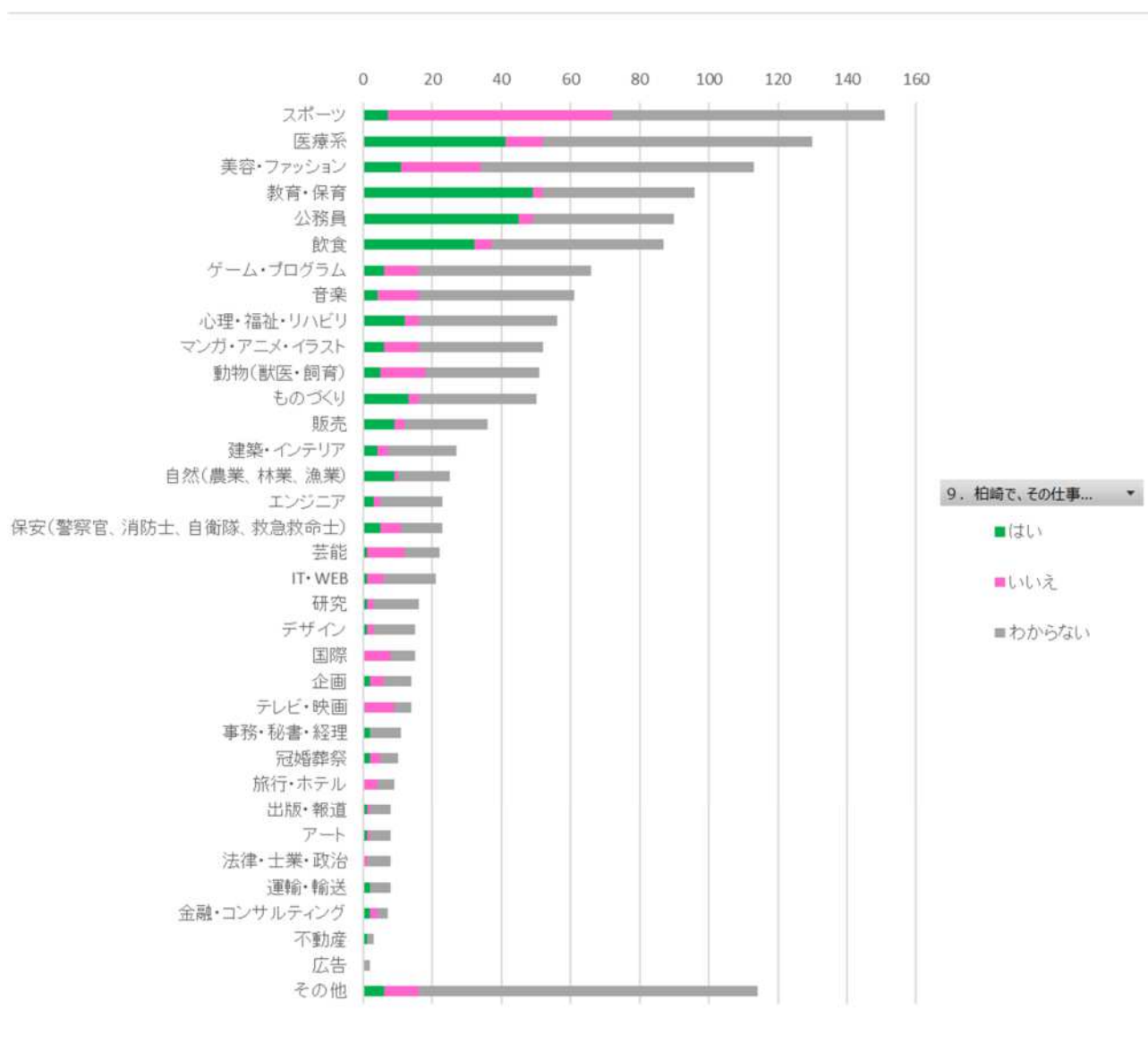
- ☐ はい
- ☐ いいえ
- ☐ 分からない

回答の傾向

多くの職業において、「柏崎でできるかどうか分からない」という回答が圧倒的に多く、特に「スポーツ」「音楽」「ゲーム・プログラム」「マンガ・アニメ・イラスト」などの分野ではその傾向が顕著です。一方で、「教育・保育」「公務員」「医療系」では「はい」の回答が比較的多く、地元での職業実現がイメージしやすい分野であることが分かります。

「美容・ファッション」や「スポーツ」など、人気の高い職業では「いいえ」の割合も高く、地元での実現が難しいと感じている生徒も多いようです。また、「その他」の回答でも「わからない」が非常に多く、職業と地域との結びつきについての理解が十分でないとも考えられます。

▼仕事（職業）-回答別



▼仕事（職業）-回答別 集計値

個数 / 9. 柏崎で、その仕事（職業）はできそうですか？ 行ラベル	列ラベル はい	いいえ	わからない	総計
⊕ スポーツ	7	65	79	151
⊕ 医療系	41	11	78	130
⊕ 美容・ファッション	11	23	79	113
⊕ 教育・保育	49	3	44	96
⊕ 公務員	45	4	41	90
⊕ 飲食	32	5	50	87
⊕ ゲーム・プログラム	6	10	50	66
⊕ 音楽	4	12	45	61
⊕ 心理・福祉・リハビリ	12	4	40	56
⊕ マンガ・アニメ・イラスト	6	10	36	52
⊕ 動物（獣医・飼育）	5	13	33	51
⊕ ものづくり	13	3	34	50
⊕ 販売	9	3	24	36
⊕ 建築・インテリア	4	3	20	27
⊕ 自然（農業、林業、漁業）	9	1	15	25
⊕ エンジニア	3	2	18	23
⊕ 保安（警察官、消防士、自衛隊、救急救命士）	5	6	12	23
⊕ 芸能	1	11	10	22
⊕ IT・WEB	1	5	15	21
⊕ 研究	1	2	13	16
⊕ デザイン	1	2	12	15
⊕ 国際		8	7	15
⊕ 企画	2	4	8	14
⊕ テレビ・映画		9	5	14
⊕ 事務・秘書・経理	2		9	11
⊕ 冠婚葬祭	2	3	5	10
⊕ 旅行・ホテル		4	5	9
⊕ 出版・報道	1	1	6	8
⊕ アート	1	1	6	8
⊕ 法律・士業・政治		1	7	8
⊕ 運輸・輸送	2		6	8
⊕ 金融・コンサルティング	2	2	3	7
⊕ 不動産	1		2	3
⊕ 広告			2	2
⊕ その他	6	10	98	114
総計	284	241	917	1442

2024 年調査との比較

2024 年と 2025 年を比較すると、「柏崎でその仕事ができそう」と考える割合に大きな差は見られませんが、職業によってわずかな変化が見られました。特に「教育・保育」や「美容・ファッション」は 2025 年にやや減少し、「自然（農業等）」や「建築」はわずかに増加しています。両年ともに「公務員」「医療系」「教育・保育」など地域に根ざした職種は割合が高く、地元で働く現実的な職業として意識されているようです。一方、「IT」「芸能・メディア」などの都市型職業は、「柏崎ではできない」と考える傾向が依然として続いています。

問 10. 質問 9 で答えた理由を教えてください。(自由記載)

※回答数の多い職業は要約して表示しています。

	はい	いいえ
スポーツ	柏崎にはスポーツが盛んな印象がある。 スポーツは場所を選ばずにできると思う。 柏崎には土地があり、都会に比べて価格も安い。 実際にそうした環境を見たことがあるため、実現可能だと感じている。	柏崎にはプロスポーツチームや球団がない。 活動できる場所やスポーツ施設が不足している。 スポーツ関連の仕事や職業が少ない。 強豪チームや競技レベルが低いと感じられている。 夢を叶えるには他県の方が環境が整っている。 柏崎出身の活躍する選手が少ない。 街が小さくスポーツ文化があまり盛んでない。 特定のスポーツ(女子野球やバレーボールなど)のチームや設備が不足している。
医療系	柏崎には看護学校や病院、医療施設がある。 病院や薬局などの医療現場が整っているため、看護師として働ける環境がある。 看護師を目指す人にとって、柏崎でも十分に仕事ができる場所がある。 一部は他県でも働いてみたいという意見もあるが、柏崎の医療環境は整っていると認識されている。 家族に医療関係者がいるため、柏崎の医療職を身近に感じている人もいる。	柏崎には医学部のある大学がなく、進学や専門的な学びの環境が整っていない。 柏崎の地域は衰退していると感じている人が多い。 原発の影響で安心して生活できないという不安がある。 将来的に柏崎以外の場所で働きたい、より大きな都市で経験を積みたいという意見が多い。 専門職につくためには大学進学が必須であり、そのために柏崎外の大学を選ぶ必要があると感じている。 柏崎では夢や目標を叶えるのは難しいと考えている人がいる。
美容・ファッション	柏崎には美容室やファッション・美容関連のお店が多く存在している。 身近にあるため、働きやすいと感じている。 職場体験などを通じて、実際に訪れた場所で働きたいと思っている。 美容関連の職業が多く、選択肢が豊富である。	柏崎では美容関連の職場に限られており、特に美容室以外の仕事は少ない。 店の数が減少していて、自分の希望する職種の職場がない場合が多い。 本格的に美容の仕事をしたいなら都会で働きたい。 柏崎は田舎で、選択肢や情報が少なく、都会の方が職業の幅や環境が良いと感じている。 都会の多様な人や環境で働きたいという意見もある。
教育・保育	柏崎には保育園や小中高校など、多くの学校や教育施設があるため、働く場所が確保されている。 教育や保育の仕事は身近であり、子どもが好き、先生になりたいという理由で働きたい人が多い。 親や身近な人が教育職に就いていて話を聞いているため、職業への理解がある。 全国に学校はあるため、柏崎でも働くチャンスがあると考えられている。 一部で難しい面もあるが、基本的には柏崎で教育関係の仕事ができると思われている。	柏崎には大学がない。 都会の方が収入が多い(稼げる)と思う。
公務員	実際に柏崎で公務員として働いている人がいる。 柏崎には市役所や学校など、公務員の職場が多くある。 公務員はどの地域でもできる仕事だと思われている。 公務員は給料が安定していて、地域社会に貢献できる仕事と考えられている。 柏崎には公共施設や設備が充実している。 公務員は仕事の幅が広く、多様な職種がある。 自分の両親や身近な人が柏崎で働いているため、働きやすいイメージがある。	柏崎では仕事が少ないと感じている。 都会のほうが給料が高いと思っている。 求人が少なく、仕事の選択肢が限られている。 柏崎ではなく、新潟県庁など県の機関で働きたいという希望がある。
飲食	柏崎には多くの飲食店や店舗がある。 実際に柏崎でその仕事をしている人がいる。 自分で店を開く・出すことができる環境がある。 柏崎で育つため地域に恩返しをしたい気持ちがある。 飲食店以外にも菓子屋、ホテル、結婚式場など多様な職場がある。 親や身近な人が働いている場所で働こうとしている。	柏崎には該当する企業や店舗がない。 人口が少ないため選択肢が限られている。 有名なチェーン店(例:サイゼリヤ)が柏崎にない。 専門学校などの教育機関が不足している。
ゲーム・プログラム	必要な機材(パソコンなど)があればどこでもできる。 ゲームが好きで、その環境があれば仕事ができそう。 YouTubeなどの活動は場所に左右されずにできる。	柏崎にはその会社や仕事がない、または見たことがない。 自分がやりたいことができない。 田舎で仕事の選択肢が少ない。 他の地域の方が適していると思う。
音楽	音楽関係の仕事は場所を選ばずどこでもできると思っている。 インターネットがあるため、柏崎でも仕事が可能と考えている。 柏崎に働けそうな場所があるから。	田舎であるため、様々な職業に就く環境や施設が整っていない。 音楽スタジオなど専門的な設備がほとんどない。 自分のやりたい職業に対応した会社や働く場所が柏崎には少ない、またはないと感じている。
心理・福祉・リハビリ	柏崎には福祉や介護関連の施設や職場があり、働く場所が存在する。 専門学校や大学がないため、専門的な学びや活躍の場は市内に限られると感じている。 お年寄りと関わる仕事に興味があり、福祉職はこれからも必要とされる分野だと思われている。 一方で、より広い世界で活動したいという意見もある。	柏崎には専門学校や大学がなく、専門的に学んだり活躍したりする場所が不足している。 市内の環境が狭く、やりたいことをする場所が限られていると感じられている。
マンガ・アニメ・イラスト	イラストやアニメ制作は機材があればどこでもできる仕事である。 家や柏崎でも制作可能で、インターネットを活用すれば場所にとらわれず仕事ができる。 柏崎にも制作できる環境や施設があると聞いている。	イラストや声優など専門的な職業に関して、柏崎には関連の大学や専門機関がないため、できないと考えている。 田舎であり、職業に就いている人が身近にいないため不安がある。 声優の仕事をする場所や関連会社が柏崎にないと思われている。 もっと都会や関東圏で働きたい、学びたいという意見が多い。 集英社など大手企業で働きたいという具体的な希望もある。
動物(獣医・飼育)	柏崎には動物に関わる仕事ができそうな店や専門店がある。 そのため、柏崎でも関連の仕事が可能であると考えられている。	柏崎には動物園や水族館などの施設がないため、動物に関わる仕事の場が限られている。 温暖な地方の動物を飼育したり、特定の動物(レッサーパンダやシャチ)のトレーナーになりたいという希望がある。 人口が少なく動物を飼う人も少ないため、関連の仕事環境が整っていないと感じられている。 ただし、獣医の仕事なら柏崎でもできる可能性がある。
ものづくり	職業体験などで調べて、柏崎に関連の職場や会社があると知っている。 材料や設備が揃ってそうで、ものづくりができる環境があると思っている。 実際に会社や職場が柏崎に存在している。 慣れた場所や地元で働きたいという気持ちがある。 いろいろな会社や職場が柏崎にあると考えている。	できない(柏崎ではできないと思う)。 信越地方だから(地域的な理由で難しいと感じている)。

	はい	いいえ
販売	お店やスーパーがあるので仕事ができる。 セブンイレブンの店長を将来目指している。 お父さんの会社を継ぎたいと思っている。 さまざまなお店があるから働ける。	柏崎市にはその店舗がない。 販売を行う大きな拠点が少ない。
建築・インテリア	職場体験で建築業の場所に行ったから。 職場体験で良さそうな会社があったから。 その職業の会社が柏崎にあるから。	つきたい仕事の職場やお店が少ない。 柏崎はあまり発展していない。 都会の方が学べる環境が整っている。
自然(農業・林業・漁業)	自然が豊かであること。 自然が多くてのびのびできそうな環境であること。 土地が広くて余裕があること。 自然の中で楽しそうに活動できるから。	
エンジニア	できるから、柏崎でもできる施設などがあるから	できたとしても、大したことができないさうだから
保安(警察官、消防士、 自衛隊、救急救命士)	柏崎に消防署があるから。 柏崎に警察署があるから。	環境がより整った場所で働きたい。 いろいろな経験や知識を得たい。 県外の警察署で仕事がしたい。 柏崎よりもやりがいのある職場を希望している。 駐屯地が柏崎にはない。
芸能		柏崎には芸能事務所や有名な事務所がない。 芸能関係の仕事をする場所や環境が整っていない。 有名な芸能人や関連施設が少ない。 東京など別の場所で働きたい。 柏崎は狭くて芸能の仕事は難しいと感じている。
IT・WEB		柏崎には良い企業や有名企業が少ない、または聞いたことがない。 環境的に企業が進んでいるのは主に首都圏であり、柏崎はその対象外 と感じられている。
研究	海洋生物環境研究所に職場体験でいきそう思ったから	柏崎市にある大学の中でやりたいことがないから 気候がやばい
デザイン	柏崎にもいろいろな仕事があるから	したい仕事が柏崎にないから。 もうちょっと都会行つたほうがなんか良さそう
国際		柏崎には進学先や専門の教育機関がなく、環境が整っていない。 話を聞く機会が少なく、情報が乏しいと感じている。 その職業を目指すには関東や海外など、柏崎以外の地域に行く必要が あると考えている。
企画	どこにでもありそうな仕事だから パソコンを使えば、どこでもできるから。	柏崎には希望する職業の職場や企業が少ない。 東京などの都市部に希望する仕事の会社があるため、そちらで働きたい。 大手メーカーなど、より規模の大きな企業で仕事をしたいと考えている。
テレビ・映画		柏崎にはテレビ局がなく、テレビ関係の仕事ができる環境や規模が整 っていない。 撮影や制作に適した場所が柏崎には少ない。 東京などの都市部にあるテレビ局本所で働きたいという希望がある。 よりよい仕事に就くには柏崎以外の地域の方が適していると感じてい る。
事務・秘書・経理 冠婚葬祭	柏崎にもその仕事があるから 柏崎にあるから 式場があるから	都会じゃないから 柏崎市にない会社だから 結婚式場が少ないため、自分の入りたいところに入れないから
旅行・ホテル		希望する職場(空港や特定のホテルなど)が柏崎には存在しない。 働きたい業種が柏崎にはなく、他の地域にしかないため、柏崎では難し いと感じている。
出版・報道	小説家になって憧れの小説家になりたいからです。	
アート	楽しい	ないから
法律・土業・政治		場所がないから
運輸・輸送		
金融・コンサルティング	親がやってるから	金融系の会社が少ないから。 国内だけでできるものじゃないから。
不動産		
広告		
その他		

「スポーツ」や「ゲーム・プログラム」「音楽」などの分野で、柏崎での実現は難しいという否定的な意見が多く見られました。特に専門性の高い職業や都市的なインフラを必要とする分野では、「施設や環境が整っていない」「専門的に学べる場所がない」といった理由で、地元では難しいと感じている傾向があります。

一方、「医療系」や「教育・保育」「公務員」などの職業については、実際に柏崎に勤務している人が身近にいることや、地元が必要とされる職業など比較的肯定的な意見が多く、「柏崎でもできる」との認識が広がっています。

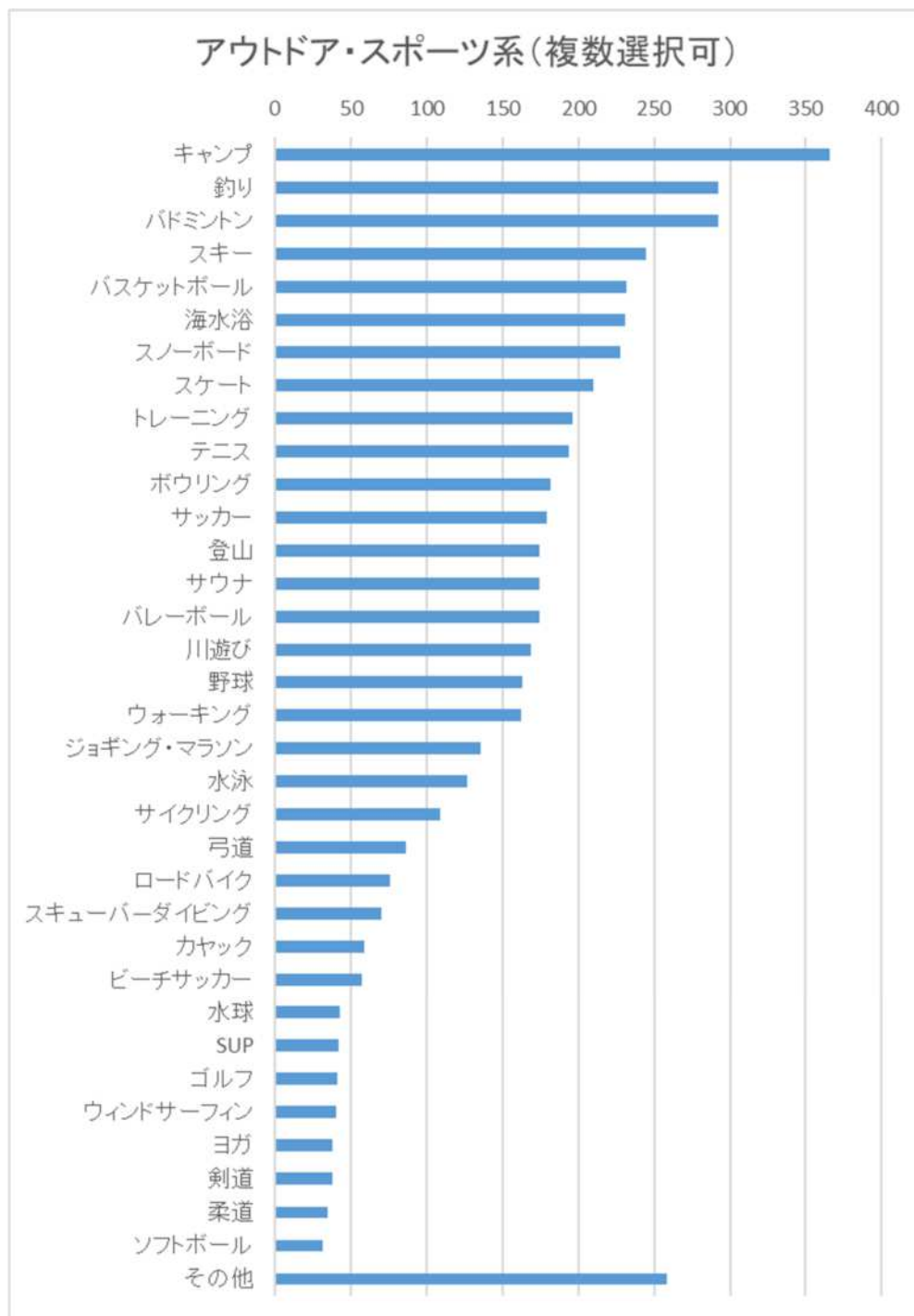
また、「美容・ファッション」や「販売」「飲食」など身近な職業に関しては、「店舗がある」「見たことがある」といった具体的な経験をもとに、実現可能だと考える意見も見られましたが、「都会でしか活躍できない」「選択肢が少ない」といった不安も根強く、回答が分かれる傾向にあります。

**問 11. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【アウトドア、スポーツ系】に取り組む場合、
どのようなことをしたいですか？**

回答の傾向

アウトドア・スポーツ系で人気が高かったのは、「キャンプ」「釣り」「バドミントン」「スキー」「バスケットボール」の順で、いずれも 200 件以上の回答を集めており、多くの生徒に親しまれていることが分かります。中位には「海水浴」「スノーボード」「スケート」「トレーニング」「テニス」などがあり、季節性のある活動や個人でも取り組みやすい種目が多く挙がっています。

▼選択肢別-降順



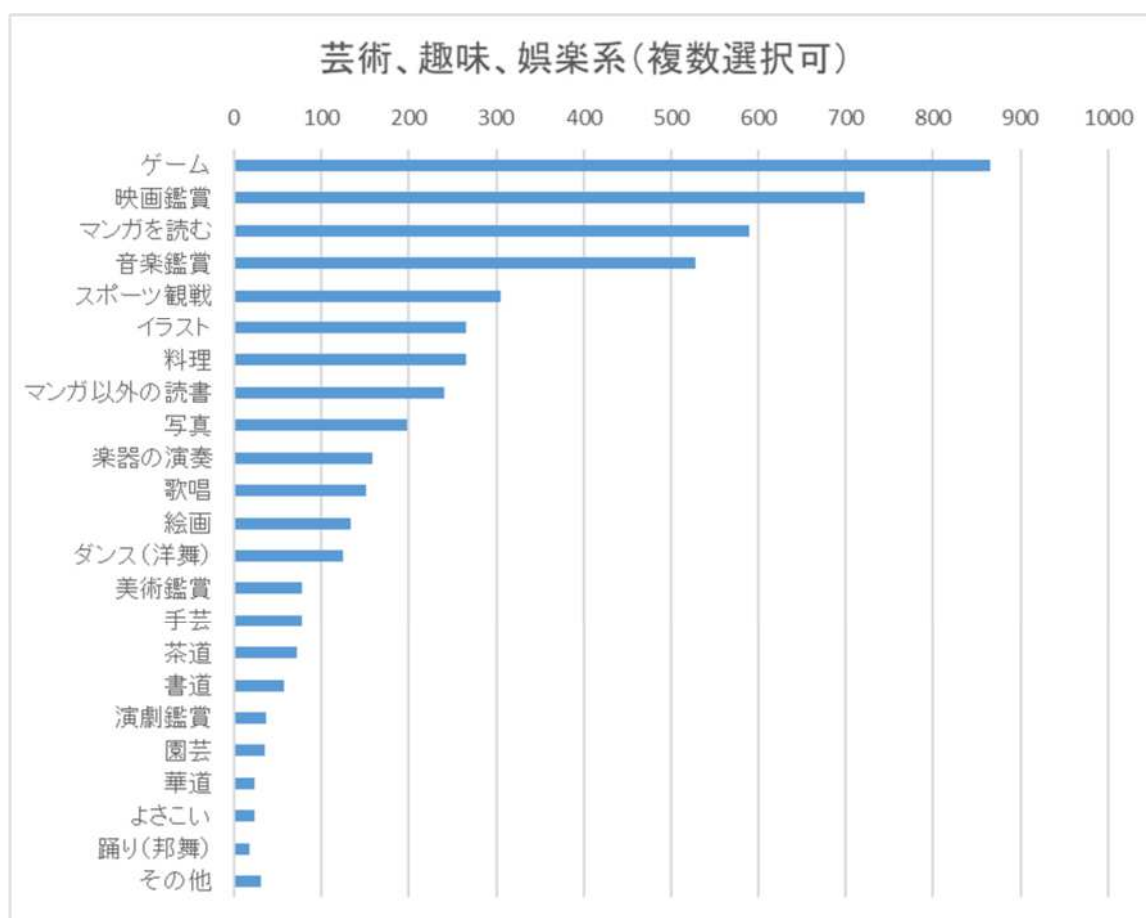
**問 12. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【芸術、趣味、娯楽系】に取り組む場合、
どのようなことをしたいですか？**

回答の傾向

関心が最も高かったのは「ゲーム」で、圧倒的多数の回答（900 件近く）を集めており、次いで「映画鑑賞」「マンガを読む」「音楽鑑賞」も 600～800 件と非常に人気が高いです。中位層には「スポーツ観戦」「イラスト」「料理」「マンガ以外の読書」などがあり、自発的な創作や日常的な楽しみに対する関心も一定数見られます。

デジタルや視覚文化に強く影響され、日常的で気軽に楽しめる活動が人気の傾向です。

▼選択肢別-降順



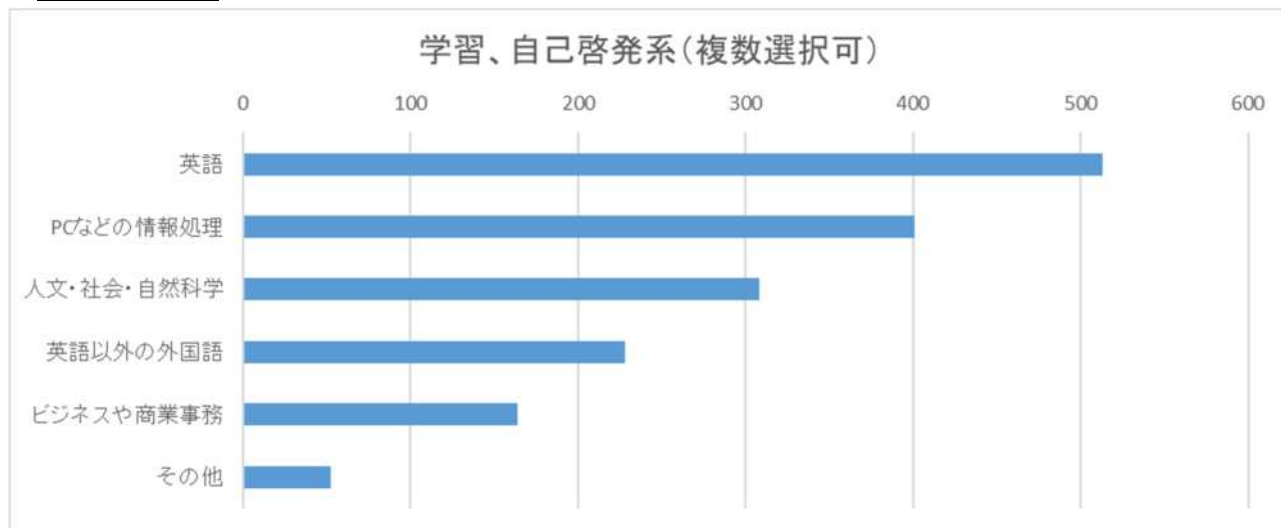
問 13. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【学習、自己啓発系】に取り組む場合、

どのようなことをしたいですか？

回答の傾向

「英語」の回答が最も多く、次いで「PC などの情報処理」や「人文・社会・自然科学」も高い関心を集めており、実用的かつ学術的な分野への興味の高さがうかがえます。将来の進路やキャリア形成を見据えて、実用的で将来性の高いスキルを重視して学習に取り組もうとしている様子がうかがえます。

▼選択肢別-降順



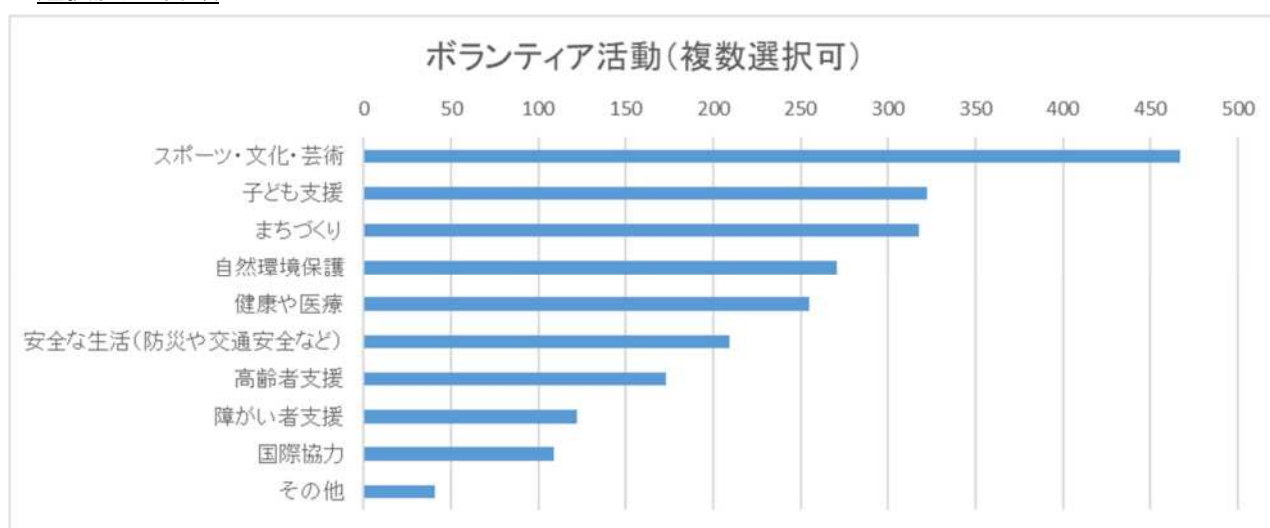
問 14. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【ボランティア活動】に取り組む場合、

どのようなことをしたいですか？

回答の傾向

「スポーツ・文化・芸術」が最も多くの支持を集めており、親しみやすさや身近な機会の多さが影響していると考えられます。続いて、「子ども支援」「まちづくり」が同程度の高い関心を集めており、地域社会や将来を担う世代への貢献意識の高さが見られます。

▼選択肢別-降順



問 15. あなたの好きなことやワクワクすることが柏崎でできるとしたら、

どんなことがしたいですか？（自由記載）

▼自由記載の分類結果

自由記載は概ね以下に分類されました。

キーワード	回答の一例
映画・ライブ・音楽関連	<ul style="list-style-type: none"> ・映画館が欲しい、映画を観たい（何度も登場） ・ライブ（Mrs.GREEN APPLE のライブやアイドルライブ、音楽ライブ全般） ・音楽鑑賞、楽器演奏、ミュージカルなど
ショッピング・飲食	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン、アウトレット、コストコなど大型ショッピングモールが欲しい ・アニメイトや本屋、ロフトなどの専門店 ・カフェ巡り、ミスド、サイゼリヤなど飲食店の充実希望
スポーツ・アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケ、サッカー、バレー、ソフトテニス、柔道、弓道、アスレチックなど多様なスポーツ ・スポーツ施設、室内練習場、スポーツ大会やフェスティバル希望 ・スケボー場、ランニング、トレーニングセンター、バイクサーキット ・Eスポーツ、ゲームセンター（ゲーセン）、ゲーム大会
イベント・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭り（えんま市、花火、ハロウィンなど） ・地域交流イベント、ワークショップ、手芸や絵画の教室や展覧会 ・たくさんの人が関わるイベントや体験教室
自然・レジャー	<ul style="list-style-type: none"> ・海や山での遊び（海水浴、釣り、ホエールウォッチング） ・キャンプ、スキー、スノーボード ・公園での鬼ごっこやピクニック、ビーチサッカーなど
施設・街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・映画館、ショッピングモール、ゲームセンター、スポーツパーク ・温泉施設、アウトドア施設、ドッグラン、バッティングセンター ・街の賑わい作り、交通利便性の向上

遊び場や娯楽施設の不足を強く感じており、映画館やショッピングモール、スポーツやライブイベントなど、気軽に楽しめる場所や仲間と交流できる機会の充実を求めています。また、アニメやゲームなど若者文化に関する体験や安全で居心地の良い居場所づくりも重要視されています。

■パートナーチーム及び本アンケートに関するお問合せ先

柏崎市元気発信課 移住定住促進係 TEL 0257-47-7333

NPO 法人 aisa（パートナーチーム事務局） TEL 0257-21-5910